

質問日	令和4年12月1日(木)		質問方式	分割方式			
質問順位	5	会派名	自由民主党浜松	議席番号	41	氏名	花井 和夫
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 消防団員の確保対策について	<p>消防団員数の減少は、本市のみならず全国的な課題となっており、総務省消防庁の検討会報告書では危機的状況としている。消防団は、地域の消防・防災体制に欠くことができない存在であり、地域コミュニティの維持や活性化に大きな役割を果たしている。今後、団員数の減少で様々な活動に影響が出ることが危惧される。</p> <p>これまで施設整備や装備の充実、団員の処遇改善、広報など様々な施策を行ってきたが減少に歯止めがかからない状況であり、市民の社会的理解が必要となっている。これをすれば確実に団員数増加につながるというものはなく、また、消防局・消防団だけでできるものではなく、市全体として取り組む必要がある。そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 消防団の意義や必要性について伺う。</p> <p>(2) 消防団員確保対策における現状と課題及び今後の対策について伺う。</p>						山名副市長 猪又消防長
2 災害ボランティアセンターについて	<p>昨今の台風や豪雨災害など大規模災害発生時において、災害ボランティアの活動はますます重要となっている。</p> <p>先日の台風15号の被害は甚大で、現在も静岡市では災害ボランティアセンターが活動中であり、天竜区でも本市として初めて災害ボランティアセンターを開設した。災害ボランティアセンターの開設や運営は社会福祉協議会の担当であるが、行政との連携は欠かせない。各区では災害ボランティアコーディネーターを中心に連絡会があり、日頃から活動している。</p> <p>昨年度、地域防災計画が、より一層災害ボランティアセンターを充実するために改正された。また、社会福祉協議会においても災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しがされている。そこで、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 災害ボランティアセンター開設の可否判断について、浜北区や東区でもボランティアニーズがあったと思うが対応はどうであったのか伺う。</p> <p>(2) 天竜区災害ボランティアセンターの活動状況はどうであったのか、また、課題と今後の対応をどう考えているのか伺う。</p> <p>(3) 地域防災計画に示された市の役割への対応について伺う。</p>						山下健康福祉 部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>3 瓦屋根の強風対策への支援について</p>	<p>近年、台風や竜巻・突風による屋根瓦の飛散・脱落などの被害が多発している。国においては、既存建物の瓦屋根の耐風診断と改修に対する支援制度を令和3年度に創設した。静岡県でも、この支援制度を活用して瓦屋根の耐風診断と改修に関する県内市町への助成制度を本年度から創設したが、政令市は対象外となっている。</p> <p>本市をはじめ、県内では台風のみならず竜巻や突風の注意情報が気象庁から度々発表され、実際に被害も発生しており、瓦屋根の強風対策は喫緊の課題となっている。</p> <p>今年2月議会での自由民主党浜松の代表質問において、強風対策への支援に関し、「屋根の耐風診断と改修に対する国の支援制度の活用や地震対策に関する支援制度との組合せについて国や県と協議するなど、木造住宅の耐震化を加速する施策について調査研究していく」と答弁している。そこで、支援制度創設に向けた検討及び取組について伺う。</p>	<p>井熊都市整備部長</p>
<p>4 マンションの適正管理について</p>	<p>空き家問題は全国的に大きな課題となっており、同様にマンションの老朽化も今後の課題となっている。適正に維持管理や修繕がされていないマンションは、安全性の低下とともに居住環境や周辺地域の住環境悪化などの発生が危惧されている。国においては、マンション管理の適正化を推進するために「マンション管理適正化法」の改正が行われ、管理計画認定制度の創設や管理適正化のための助言や指導が盛り込まれた。また、今後のマンション政策のあり方に関する検討会を設置し、マンションを取り巻く現状と課題を整理し、維持管理の適正化や再生の円滑化の観点から今後進めるべきマンション政策について、幅広く検討を行っている。</p> <p>本市でもマンション管理適正化推進計画が策定され、管理適正化の目標設定やマンション管理計画認定制度についてなどに触れている。他都市では、行政とマンション管理士会など関係団体との連携により、一層の推進を目指している。そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 本市の現状と課題について伺う。</p> <p>(2) マンション管理計画認定制度の普及促進の取組と関係団体との連携について伺う。</p>	<p>井熊都市整備部長</p>
<p>5 STEAM教育の推進について</p>	<p>一昨年の11月議会での質問に対し、「STEAM教育が目指す人材育成の視点は、ものづくりが盛んな本市の強みを生かした人づくりを進めることと親和性が高</p>	<p>宮崎教育長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>い視点であり、本市にとって必要不可欠であると考え る。」と答弁している。その後、国においても政府の科 学技術・イノベーション基本計画や文科省中央教育審 議会の答申等で、STEAM教育の重要性が述べられ ており、STEAM教育推進への機運が高まってきて いる。</p> <p>経済産業省のSTEAMライブラリーでは無料のコ ンテンツが多数提供され、経済団体連合会においても STEAM教育の推進を目的としたプラットフォーム 構想を掲げており、産官学によるSTEAM教育推進 の環境が整いつつある。また、他都市の教育委員会でも 企業との連携によるSTEAM教育を推進している。</p> <p>推進に当たっては、GIGAスクールやプログラミ ング教育が大きな鍵となってくるが、指導教員の不足 や環境の格差など推進に向けての課題も指摘されてい る。そのためにも経済界やNPOなどとの連携による STEAM教育センターを設け、研修や教材の研究開 発、先進校の実践の紹介などを行うことも一考の余地 がある。STEAM教育の推進は、ものづくり産業や 大学との連携など、本市で進めることに大きな意義が あると考える。そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) STEAM教育についての考えを伺う。 (2) STEAM教育にどう取り組み、推進していくか伺 う。</p>	
<p>6 スポーツ推進につ いて</p> <p>(1) 新たなスポーツ 推進計画について</p> <p>(2) 今後のインクル ーシブスポーツの 推進体制について</p>	<p>国において第3期のスポーツ基本計画が今年3月に 策定され、今後のスポーツ政策の方向が示されている。 今後取り組むべき施策と目標として、東京オリンピック ・パラリンピックのレガシーの継承・発展に向けて 重点的に取り組むべき施策やスポーツ推進に向けての 新たな3つの視点を掲げている。</p> <p>本市では、令和6年度までの6年間の計画として第 2期のスポーツ推進計画が策定されており、今後、第 3期の計画策定に向けて取り組むこととなる。そこで、 以下2点について伺う。</p> <p>(1) 本市は東京オリパラで共生社会ホストタウンとして 外国人や障害のある人など、誰もが隔たりなく学習や スポーツに取り組める都市を目指してきた。新たな計 画策定に向けての施策の方向と、インクルーシブスポ ーツをどのように位置づけていくのか伺う。</p> <p>(2) 東京オリパラのレガシーの継承発展において、本市 でインクルーシブスポーツを一層推進していくことは 重要である。国においてはスポーツ振興の観点から、 障害者スポーツは文部科学省の外局であるスポーツ庁 が所管しており、本市においてもスポーツ施策の一元</p>	<p>嶋野文化振興 担当部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>化は必要である。そこで、インクルーシブスポーツの推進体制について伺う。</p>	
<p>7 浜松のシティプロモーションについて</p> <p>(1) インバウンドについて</p> <p>(2) 家康公ブランドの活用について</p>	<p>(1) 政府が外国からの個人旅行の受入れの再開など、新型コロナウイルスに関する水際対策の大幅緩和を実施し、円安効果もありインバウンドが拡大されることへの期待は大きく高まっている。</p> <p>国内の多くの都市がインバウンドの取組を再開し、都市間競争の中で本市が選ばれるための戦略が重要となってくる。そこで、コロナ禍の中で本市が実施してきたインバウンドの取組と今後の戦略について伺う。</p> <p>(2) 産業や歴史・伝統・文化など本市の持つ都市ブランドイメージは数多く挙げられる。大河ドラマ「どうする家康」の放映は、徳川家康公のブランド力を高める絶好の機会である。出世の街プロモーションや家康公ゆかりの都市との交流をはじめ、家康公ブランドを活用した取組について伺う。</p>	<p>鈴木観光・ブランド振興担当部長</p>